

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-4-2		事業名	雨に強いまちづくり		
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 佐々木(秀) 818-3441					
全 体 計 画						
事業内容	大雨による水害から市民生活を守るため、白石区平和通地区周辺の雨水を一時的に貯める下水道管(貯留管)を整備するなど、下水道と河川が一体となって、雨に強いまちづくりを進める。			<年度別の事業内容>		
				19年度	豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の基本設計	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)		
	○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の基本設計			○豊平川雨水貯留管および雨水分水施設の実施設計		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
豊平川貯留管の整備進捗率	-	-	1%	10%	35%	35%
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>市民との連携、市民参加 パンフレットの配布、インターネットホームページや下水道科学館の活用などにより、雨に強いまちづくりについて、下水道と河川が連携して情報提供を行っている。また、モニター制度、市営企業調査審議会などにより市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>						

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-4-2		事業名	雨に強いまちづくり		
評価(成果)				課題		
豊平川雨水貯留管の基本設計により、雨水対策と合流改善、雪処理施設の併用利用による経済的な施設の検討ができた。				効率的な雨水対策のために、雨水を適切に豊平川雨水貯留管とポンプ場へ振り分ける必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
豊平川雨水貯留管および分水施設の実施設計において、雨水を豊平川雨水貯留管とポンプ場へ効率的に振り分けるための雨水分水施設について、詳細な構造と位置を検討する。 また、豊平川雨水貯留管については、今後の実施設計をとおして、効率的な施設整備を図り、25年度の完成を目指す。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	38,000	231,000	628,000	897,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	16,000	93,000	251,000	360,000
	市債	0	21,000	127,000	346,000	494,000
	その他	0	1,000	11,000	31,000	43,000
予算	事業費	0	37,217	-	-	37,217
	財源内訳					
	国・道支出金	0	10,649			10,649
	市債	0	24,768			24,768
	その他	0	1,578			1,578
実績	事業費	2,489	-	-	-	2,489
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	2,489				2,489
	その他	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				4.4%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						